


Pre event+ プレイベント 感じる地球 - Your Own Globalism

世界を舞台に活躍するパネリストを迎え、環境問題を中心に、現在の地球が抱える問題をどのように捉え、どうその問題に取り組んでいるかを語っていただきます。また、世界規模の問題を引き起こす要因の一つであるグローバリズム(世界主義)を再考し、この言葉の真の意味を捉え直します。

企画: サミット学生サポートスタッフ「フォース」 中山陽介

日時: 2007年10月12日(金) 18:00-20:30 *開場17:30 会場: 京都造形芸術大学 芝生広場 *雨天の場合は屋内に変更 定員: 150名(高校生以上) *要事前申込、先着順
共催: 京都市 特別協力: 大阪産業大学 



片山右京 KATAYAMA Ukyo レンシングドライバー、登山家、大阪産業大学客員教授
1963年東京都生まれ。1983年FJ1600でレースデビュー。1991年全日本F3000選手権チャンピオン。1992年から1997年まで6年間、F1に参戦。日本人としては最多の95戦に出場。1996年から世界の高峰に毎年登頂する。1999年ル・マン24時間レースの参戦、日本人チーム歴代最高の総合2位。2002年バリーダカールラリーに初参加、完走。同年、世界最高峰エベレストに挑戦。この他、自転車で日本縦断、チャリティでマラソン大会を企画するなど、幅広い挑戦を続けている。



辰野勇 TATSUNO Isamu 株式会社キルバ代表取締役、びわこ成蹊スポーツ大学客員教授
1947年大阪府生まれ。1975年に登山用品メーカー「株式会社モンベル」設立。アイガー北壁日本人第二登、黒部川源流部から河口までのカヤック初下流など、国内外での冒険歴は多数。趣味は登山、カヤック、横笛演奏、茶道など。公職として、文部科学省独立行政法人評議員、青少年野外教育振興財団評議員など子供たちの野外教育の分野においても活躍中。



モデレーター 略歴 椿昇 TSUBAKI Noboru 現代美術家、京都造形芸術大学教授
1953年京都生まれ。1989年「アゲインスト・ネーター展」、1993年「ヴェネチア・ビエンナーレ」アペルト部門出品。2001年「横浜トリエンナーレ2001」では情報哲学の室井尚と組んで「飛越」を発表。2003年水戸芸術館で個人とシステムの関係を開く「国連少年展」を開催。Bangladeshやパレスチナなどで持続可能な成長を志向する「ラジカルダイアログ」を展開中。地球環境センター客員研究員。2005年4月より本学教授。第1回世界アーティストサミット参加アーティスト。



フォースプロジェクト
「第2回世界アーティストサミット」の運営、広報、プレイベント企画・実施を担当するのが、京都造形芸術大学の通学・通信生、卒業生15名で構成されるサミット学生サポートスタッフ「フォース」です。京都造形芸術大学プロジェクトセンターのプロジェクトとして、ASK2005参加アーティストで京都造形芸術大学教授の椿昇の指導のもと、「世界アーティストサミット」と人々をつなぐ重要な役割を担います。京都造形芸術大学プロジェクトセンターHP <http://kuad.jp/pjc/index.html>
フォースプロジェクトブログ「フォース日報」: <http://ask2007-force-blog.seesaa.net>

Application method お申し込み方法

コアミーティング ウェブサイト参加申込フォームから直接送信いただくか、参加申込フォームをプリントアウトし、必要事項を明記したものをFAXで送ってください。参加希望者はレポート課題の提出が求められます。(応募締切10月31日必着)

●レポート課題提出について

参加にあたっては、レポートを提出していただきます。申込人数が定員を超えた場合は、レポートによって参加の可否を決定します。なお、応募者から選出された2名の大学生には、2日目に於ける公開シンポジウム第1部にパネリストとして出演いただけます。(在任地・京都の往復交通費および1泊分の宿泊費(遠方の場合)を支給)

●レポート課題

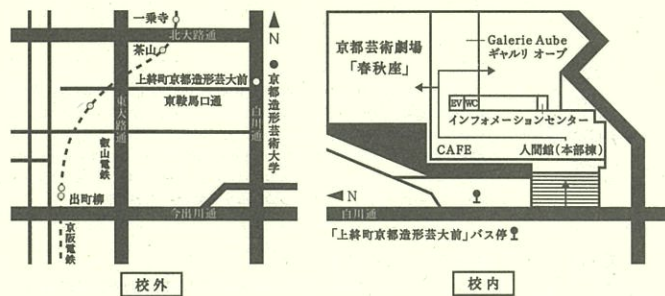
課題: 「自分の身の回りにある身近な問題に目を向け、どういった問題かを説明し、その解決策を提案する」
※「世界アーティストサミット」では、トップアーティストが世界規模の問題に対する解決策を考えます。応募を希望する大学生の皆さんは、逆にローカルな視点からこの課題に取り組んでください。

公開シンポジウム ウェブサイト参加申込フォームから直接送信いただくか、メールまたはFAXで「ASK2007公開シンポジウム参加希望」と明記の上、お名前、ご住所、連絡先(TEL、FAX、メール)、所属・学校名を記入し、送信してください。

プレイベント ウェブサイト参加申込フォームから直接送信いただくか、メールまたはFAXで「ASK2007プレイベント参加希望」と明記の上、お名前、ご住所、連絡先(TEL、FAX、メール)、所属・学校名を記入し、送信してください。

ウェブサイト: <http://www.artists-summit.org/> Fax: 075-791-9181 プレイベントE-mail: pre-event-application@artists-summit.org
公開シンポジウムE-mail: sympo-application@artists-summit.org ※電話での申し込みは受け付けていません。

Access アクセス



●市バス3、5、65、204系統「上終町京都造形芸術大前」下車すぐ ●叡山電鉄叡山線「茶山駅」より徒歩10分 ●京阪電鉄「出町柳駅」よりタクシーで約7分 ※駐車場・駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
※バリアフリーアクセスについては、アーティストサミットのホームページ <http://artists-summit.org> をご覧ください。

Inquiry お問い合わせ

学校法人 瓦生山学園
京都造形芸術大学
世界アーティストサミット事務局 担当: 杉浦、田中
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
TEL: 075-791-8027 FAX: 075-791-9181
E-mail: info@artists-summit.org
公式ウェブサイト: <http://artists-summit.org/>
フォースプロジェクトブログ: <http://ask2007-force-blog.seesaa.net>
※お電話、ファックス、メールのいずれかの方法で受け付けます。お名前、連絡先を明記してください。※平日9:00-17:00 / 土・日・祝日休 日 ※For English information, please visit ASK2007 website <http://artists-summit.org>

特別協力: 東北芸術工科大学  協賛:  A FACTORY INC.  NJK CORPORATION  M&M  大阪産業研究所  OMRON 

 KS Solutions  京都銀行  KIP  Kinden CORPORATION  KOKOKUSHA  KONOIKE  JISコーポレーション 

JHI/EIDO  清水建設  ZOOM Design  TOYOTA  HORIBA  北和建設  株式会社 陽栄  ワコール  協力:   HAKUHODO  横浜山中高等学校 

Ar+

アーティストは世界を救えるか?

第2回世界アーティストサミット

2007.12.1 sat - 2 sun

京都造形芸術大学

主催: 京都造形芸術大学、京都市、京都府、京都商工会議所
後援: 文部科学省、経済産業省近畿経済産業局、国際交流基金、在京タイ王国大使館、駐日韓国大使館、韓国文化院、ドイツ連邦共和国駐日大使館、トルコ共和国大使館
京都府教育委員会、京都市教育委員会、財団法人大学コンソーシアム京都、社団法人関西経済連合会、社団法人京都経済同友会、株式会社エフエム京都、京都三条ラジオカフェ、京都文藝復興倶楽部 / 特別協力: 東北芸術工科大学

協賛: 株式会社アドビジョン、株式会社ア・ファクトリー、株式会社エー・アイ・エス、株式会社エヌジェーケー、株式会社エムアンドエムマネジメント、株式会社大阪宣伝研究所、オムロン株式会社、株式会社学生情報センター、同電システムソリューションズ株式会社、京都銀行、京都中央信用金庫、京都電子計算株式会社、株式会社きんてん、阪谷株式会社、株式会社浦池組、株式会社JSCコーポレーション、株式会社資生堂、清水建設株式会社、株式会社ズームデザイン、トヨタ自動車株式会社、株式会社福場製作所、北和建設株式会社、株式会社陽栄、株式会社ワコール、ホールディングス

協力: 株式会社アルフレックスジャパン、有限会社共創テクノ集団、京都市立堀籠美術工芸高等学校、株式会社神楽堂、横浜山中高等学校、横浜美術館

Cre+ativi+ save +he world.

世界ではテロによる殺戮が繰り返され、紛争は終わらず、飢えた子どもたちが巷に溢れ、環境破壊によって地球は悲鳴をあげています。人心は荒廃し、命は軽視され、その影響は次の時代を担う子どもたちの精神にまで及んでいます。私たちは、こうした絶望的危機を、政治、軍事、経済、科学の力をもって解決しようとしてきましたが、いまだ解決できていません。失望と無力感、シニシズムと享楽主義に満ちたこの世界に生きる私たち人類に、未来と希望はあるのでしょうか。この絶望的な世界を希望ある未来へ変えるために、世界をリードするトップアーティスト6名が京都に集結し、自らがもつ創造・想像力を駆使し、世界を変革する具体的アイデアを議論し、提案します。これが「世界アーティストサミット ARTISTS SUMMIT, KYOTO」です。絶望的な無力感に囚われている私たちに必要なものは、驚嘆するアイデアであり、大いなるユーモアであり、詩的ビジョンであり、そして感動する心だと思います。アーティストは人々の心に感動を与え、想いを共有させる力、国境を越え、人種を超え、人間同士を結びつける力を持っています。それが「創造・想像力」です。京都に集まる6名のアーティストたちは、この力をもって現在の絶望的な状況への突破口を必ず提供してくれるでしょう。「世界アーティストサミット」は既成概念に囚われません。だからこそ、ここから生まれる提案は「自由で奇想天外なアイデア」に富むでしょう。未来を生きる人々の心を揺さぶり、感動と希望を感じてもらうために、私たちはこの会議を行ないます。世界アーティストサミット議長 宮島達男 ASK Chairman MIYAJIMA Tatsuo

Core meeting コアミーティング

美術、音楽、ファッションといった幅広い表現世界に関わる世界のトップアーティストたちが、平和、環境、教育といった世界が直面する問題を討議し、解決策を示します。
参加アーティスト：ジャールパット・アーチャワサミット、ギェルスン・カラムスタファ、イングリッド・ムワンギ、坂本龍一、クシシュトフ・ヴォディチコ、ユック・クンビョン

日時：2007年12月1日(土)10:00-18:30、2日(日)10:00-11:30 場所：京都造形芸術大学 ギャラリー・オーブ（人間館1F）
聴講者定員：100名（大学生のみ・通信生含む） * 要事前申込、レポート提出 聴講費：無料 通訳：逐次通訳（英・韓）

2007.12.1 (土)

10:00-10:10	開会の挨拶
10:10-10:15	プログラム概要説明
10:15-12:15	ユニット1
12:15-14:30	休憩
14:30-16:30	ユニット2
16:30-17:00	休憩
17:00-18:30	ユニット3

2007.12.2 (日)

10:00-11:30	ユニット4
-------------	-------

Artist list 参加アーティスト略歴

ジャールパット・アーチャワサミット(タイ) Jarupatcha ACHAVASMIT (Thailand)
1973年タイ生まれ。現在セントマーチンアートデザインスクール大学院修士課程で、社会の持続可能性、タイ伝統織物を研究中。天然素材を使用した作品が特徴。Mae Fah Luang基金にて、バンコクにおけるファッションショーの発展及び「資金の三角州」におけるけし栽培を手工芸品へ切り替えるプログラムに貢献。その功績により、2005年タイ若手ファッションデザイナー金賞受賞。タイキングモクナット技術学校デザイン科講師。タイ、バンコク在住。

ギェルスン・カラムスタファ(トルコ) Gülsün KARAMUSTAFA (Turkey)
1946年トルコ生まれ。イスタンブール芸術アカデミー卒業。トルコ国内外で多くの展覧会へ出品。国際展ではイスタンブール、光州、セビリア、ハバナ各ビエンナーレへ出品。ミュンヘン芸術アカデミー客員教授、コペンハーゲンロイヤルアカデミーワークショップ開催、ハノーバー国際大学講師等の豊富な教授経験を持つ。トスカナ地域プロジェクトでは、自然経験と、いかに経験が社会によりよく伝達されるかを社会的に調査した。芸術を通じ、社会に批評の目を向けている。トルコ、イスタンブール在住。

イングリッド・ムワンギ(ケニア) Ingrid MWANGI (Kenya)
1970年ケニア生まれ。芸術家ロバート・ハッターとともに社会への深いメッセージをこめた作品を発表、芸術家として文化、ジェンダーなどの認識の違いという壁の打破という取り組みに挑んでいる。身体を知識と洞察の間のインターフェースとして芸術作品に利用し、集団、世界レベルの疑問、困難、共存、差別の克服、歴史のトラウマ、社会の不正を、表層として映像作品に取り入れている。ドイツ、ルドヴィッヒスハーフェン在住。

坂本龍一(日本) SAKAMOTO Ryuichi (Japan)
1952年東京生まれ。東京芸術大学大学院修士課程修了。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年『YMO』を結成。1987年映画『ラストエンペラー』の音楽でアカデミー賞、他受賞。1999年制作のオペラ『LIFE』以降、環境・平和問題に言及することも多く、2001年同時多発テロを受けて論考集『非戦』を編纂。2006年六ヶ所村核燃料再処理施設稼働反対を表明し「stop-rokasho.org」を開始。同年10月、新たな音楽産業のあり方を模索する「commons」を設立。アメリカ、ニューヨーク在住。

クシシュトフ・ヴォディチコ(ポーランド) Krzysztof WODICZKO (Poland)
1943年ポーランド生まれ。1968年ワルシャワ美術アカデミー修士課程修了。ポーランドからカナダ、カナダからアメリカへ2回の移住経験をもつ。1980年以降、公共建築物、モニュメントへのパブリック・プロジェクションなどを通して、戦争、ホームレスなど、社会問題に焦点を当てた作品を発表し続けている。ヴェネチア、サンパウロ、光州等ビエンナーレへ出品。1997年マサチューセッツ工科大学先端視覚研究所教授。1999年「第4回ヒロシマ賞」受賞。アメリカ、ニューヨーク在住。

ユック・クンビョン(韓国) YOON Keun Byung (Korea)
1957年韓国生まれ。1984年延世大学大学院芸術学専攻修了。韓国内外で多数展覧会を開催。サンパウロ・ビエンナーレ、ドクメンタ、リヨン・ビエンナーレ等国際展に招待され高い評価を受ける。造形物の中に大きな眼を投影する作品を制作。2002年から継続している世界の子どもの眼を映した「ベイビープロジェクト」は国連本部（ニューヨーク）壁面などに投影されている。2000年-2006年ユンゴン大学教授。2007年より東北芸術工科大学客員教授。韓国、ソウル在住。

企画監修・議長 宮島達男(日本) MIYAJIMA Tatsuo (Japan)
1957年生まれ。1984年東京芸術大学美術学部造形科卒業。1986年同大学大学院美術研究科造形専攻修了。1988年ヴェネチア・ビエンナーレ・アール部門に招待され、国際的に注目を集める。以来、国内外で数多くの展覧会を開催。1996年から長崎で原爆を被爆した梅の木の間から育てた苗木を世界各国で現地の子ども達とともに植樹していく「時の誕生」梅の木プロジェクトを推進している。2003年8月より本学教授。2006年より東北芸術工科大学副学長。

Public symposium 公開シンポジウム

コアミーティングにおける議論を受け、大学生や高校生、また様々な分野の第一線で活躍する人々が、アートの果たす社会的役割や可能性、また芸術をどのように社会が活かしていくかについて討議します。

日時：2007年12月2日(日) 13:00-18:30 場所：京都芸術劇場「春秋座」 定員：860名（高校生以上一般）* 要事前申込、先着順
参加費：無料 通訳：逐次通訳（英・韓） その他：託児サービスあり * 要事前申込

2007.12.2 (日)

13:00-13:20	主催者挨拶：榊本頼兼（京都市長）、千住博（京都造形芸術大学学長）
13:20-14:00	オープニングプレゼンテーションー高校生からの提案 東北芸術工科大学主催「第14回全国高等学校デザイン選手権大会」優秀校に選ばれた3校9名の高校生が、社会をより良くするデザインをプレゼンテーションし、若い世代がアート、デザインを通してどのように社会と向き合い、発信しているかを示します。
14:00-16:00	第1部：Voices from the Artistsーアーティストからの提案 コアミーティングで話し合った内容をベースに、21世紀の世界が抱える問題に対して、アーティストがどのような役割を担い、現実に関わっていくかを話し合い、提案します。討議にはコアミーティング聴講生から選出された2名の大学生も参加します。 パネリスト：コアミーティング参加アーティスト、宮島達男、聴講者代表（大学生）
16:00-16:20	休憩
16:20-18:20	第2部：パネルディスカッションー未来をになう文化力 アートの力をどのように企業、行政、社会がとらえ、活用していくか、また未来の日本におけるアートの役割と可能性を、国際貢献のあり方や藝術立国の可能性にも視野を広げ討議します。表現者、企業、行政、文化施設などさまざまな形でアートに関わるパネリストをお招きします。 パネリスト：小山内美江子（脚本家、JHP・学校をつくる会代表）、高辻ひろみ（財団法人せががや文化財団常務理事、世田谷文化生活情報センター館長）、ちばてつや（漫画家）、津田和明（独立行政法人日本芸術文化振興会理事長、サントリー株式会社顧問） モデレーター：寺脇研（京都造形芸術大学教授）
18:20-18:30	閉会の挨拶：徳山祥直（京都造形芸術大学理事長）

Panelist list 参加パネリスト略歴

小山内美江子 OSANAI Mieko
1930年横浜生まれ。神奈川県立鶴見高等学校卒業。1951年東京スクリーン協会会員として映画制作に参加。1962年NHKテレビ指定席「残りの幸福」でシナリオライターとしてデビュー。1990年の母親の死と中東の湾岸危機を契機に、国境を越えたボランティア活動という新たな人生へ踏み出した。執筆の傍ら、「JHP・学校をつくる会」代表を務める。2003年文化庁より文化交流使に任命。日本シナリオ作家協会理事、NHK厚生文化事業団理事、韓国国際交流協会会長、東京未来大学客員教授。

高辻ひろみ TAKATSUJI Hiromi
東京女子大学文学部心理学専攻。株式会社資生堂入社。社内機関誌編集、新規事業開発等を担当後、1997年-2004年企業文化部長。2005年6月より財団法人せががや文化財団常務理事。

ちばてつや CHIBA Tetsuya
1939年東京生まれ。同年11月、朝鮮半島を経て、1941年1月田岡清・幸夫（現中国・遼寧省瀋陽）に改姓。1946年中国より引揚げ。1950年友人の作る漫画同人誌「漫画クラブ」に参加。1956年プロデビュー。1958年「ママのバイオリン」で雑誌連載を開始。1961年「ちかひの魔球」で週刊少年誌にデビュー。主な作品「1・2・3と4・5・6」「みっかす」「あしたのジョー」「おれは鉄兵」「あした天気になあれ」「のたり松太郎」など。社団法人日本漫画家協会常務理事。

津田和明 TSUDA Kazuaki
1934年生まれ。1957年大阪大学法学部卒業。同年4月株式会社寿屋（現サントリー株式会社）入社。1975年9月ロンドン支店長、1995年3月副社長を経て現在は顧問。社団法人関西経済連合会常任理事、社団法人関西経済同友会代表幹事、国土交通省社会資本整備審議会河川文化会委員、国立大学法人大阪大学経営協働会学外委員。2004年5月文部科学省所管独立行政法人日本芸術文化振興会理事長就任。現在に至る。

モデレーター略歴 寺脇研 TERAWAKI Ken
1952年生まれ。1975年東京大学法学部卒業。同年文部省（当時）入省。職業教育課長、広島県教育長、医学教育課長、生涯学習振興課長、政策課長、大臣官房参事官（生涯学習政策担当）、文化庁文化部長などを歴任。2006年退官。1970年代から映画評論家として活動。落語評論、漫画評論も手がける。著書「格差時代を生きぬく教育」（ユビキタ・スタジオ）『韓国映画ベスト100』（朝日新聞）他。2007年より京都造形芸術大学教授。NPO教育支援協会チーフ・コーディネーター。